

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2024-29 母体 B 群溶連菌（GBS）スクリーニングと新生児 B 群溶連菌感染症に関する検討
当院の実施責任者及び 職名	小児科 加藤文英（診療科部長）
多機関共同研究の場合 研究代表（責任）者	なし
研究期間（西暦）	当院倫理委員会承認後～2026 年 03 月 31 日
対象期間（西暦）	2008 年 01 月 01 日～2024 年 12 月 31 日
研究の目的	新生児にとって B 群溶連菌は侵襲性感染症に至る重症な細菌です。産婦人科ガイドラインに準拠し、当院でも母子感染予防を行っています。そこで以下の目的で過去の患者データを集積し、あらたなる対策につなげていきます。 ①母体 B 群溶連菌感染および保菌状態を妊娠中に渡ってスクリーニングを行い、分娩時の予防対策を行うことで、新生児 B 群溶連菌感染症を予防することが産婦人科ガイドライン 2008 に掲載されている。以後、当院でも母子の B 群溶連菌感染症予防対策を行なっている。当院での母子における B 群溶連菌検出状況、新生児 B 群溶連菌感染症発症の実態を把握する。 ②B 群溶連菌の検出のためには、膣分泌物細菌検査、ストレプト B 簡易抗原検査があるが、両者の検出状況から検査の妥当性を再検討する。 ③母体 B 群溶連菌陽性者（感染者、保菌者）への新生児 B 群溶連菌感染症予防対策を検証し、妥当性を検討する。
研究の内容	当院で妊娠経過を観察し、分娩となった母体、出生児症例を対象として、児の経過、溶連菌保菌状況、感染症発症の有無を検討します。 当院に出生した新生児を対象とする単施設後ろ向き観察研究です。
個人情報の取扱い	研究成果を国内、海外の学会や論文として発表させていただくことがありますが、個人の特定につながる病歴などの要配慮個人情報は一切公表いたしません。

問い合わせ先
(拒否等受付窓口)

【研究担当者】

所属：静岡赤十字病院 小児科

氏名：部長 加藤文英

住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2

電話：054-254-4311